

みずくらいど

校長 加藤雅弘

まちがえた意見が出たから本当に分かった

下の授業は、4年算数「折れ線グラフ」の一コマ、折れ線グラフとぼうグラフのどちらで表すのがよいかを考える場面です。



Aさん

すきな給食ランキングは、折れ線グラフがいいと思うよ。

それだと、横じくは、何になるの？

Bさん



Cさん

それだと、同じものが変化していないから…。
カレーは、つぎの日、うどんにならないよ。

このようなやりとりがありました。みなさんは、どう感じますか？

授業の終わりには、「すきな給食ランキング」は、ぼうグラフの方がふさわしいという考えに全員が納得しました。さらに単元末のテストでは、この内容の設問の正答率は96%でした。「教室はまちがうところ」とは、まさしく、このような授業だと思っています。もし、Aさんの意見が出なければ、Aさんを説得するために友達が知恵を絞ることもなかったでしょうし、その説得を周囲の友達が聞くこともできませんでした。「なぜ、ランキングを表すのに折れ線グラフはふさわしくないのか」このことを主体的に考え、自分の言葉で説明したから、本当に分かる、深い学びにつながったのです。ぜひ、まちがいをおそれず発言するとともに、まちがっても発言した人に感謝しながら、本当に分かる授業を実現してほしいと願っています。

「みずくらいど」の感想を多数お寄せいただき、ありがとうございました。

「大学の講義みたいで難しい」「子供が読みたいと思えるような文章に」「読むのが大変」など大変貴重なご意見を頂戴しました。

児童にも読んでほしいという私の想いはありましたが、保護者の方と目指すべき教育の姿を早く共有したいという気持ちが先走り過ぎていたと反省しております。

どんなスタイルがいいか考えておりましたが、「例えば」ということでシフトチェンジしてみました。また、量より(資)質も含め、児童の学びと同じように試行錯誤しながら進めて参ります。